

近着石刻関係書所収元代石刻リスト 8

森田 憲司

第 11 号に引き続き、近年に中国で刊行され、日本に入荷した石刻関係書のうちから、元代石刻の拓影や写真、あるいは録文を掲載するものを紹介する。今回は、古書で入手した少し前の刊行物の採録が中心となった。なお、各石刻の名称には、筆者が拓影によって題額などから採録したものや独自に命名したものもあり、各書籍が石刻に附している名称とは同じではない場合が少なくない。碑刻の年代についても同じ。

安陽県古碑刻集萃

安陽県老幹部局、安陽県文化局、安陽県老年書画研究会編印 2004. 10 序
拓影（大型）と簡体字録文（句読点付）、および基本データ

虎兇年聖旨碑 延祐元年（1314）7月28日聖旨 上截パクパ、下截直訳体 71p

※皇帝名は曲律皇帝まで

重修興陽院碑（首題） 至大元年（1308）5月望立石 73p

全真煙霞大師銘記 至元5年（1268）7月15日立石 76p

※列名は録文されていない

清涼山脩定寺功德記（首題） 皇慶元年（1312）12月望日立石 77p

臨汾金石録 王汝雕・牛文山編 延辺大学出版社 2005. 12

簡体字録文に、注と釈文、巻末に一部の拓影

大元勅賜重建堯帝廟碑銘并序 至元6年（1269）10月下元、泰定元年（1324）4月重建堯廟 2p

光宅宮聖旨碑 至元12年（1275）2月 佚（国家図書館拓本） 7p 拓影

光宅宮常住田宅記 至正17年（1357）2月 1999年出土 写真？あり 堯廟 9p

上截は中統4年（1263）6月聖旨、中截は記文、下截は絵図

蒙哥皇帝聖旨里碑 憲宗戊午（8/1258）3月11日立 浮山県天聖宮 38p

忽必烈皇帝聖旨碑 泰定4年立（1327） 洪洞県 41p

題額：特賜嘉号眷諭勅語

中統3年（1262）8月12日、3年2月20日、3年8月12日、中統4年3月24日聖旨

碑陰：靖応真人姜善信道行銘并序（泰定4/1327年4月26日） 録文なし

趙城県伏牛村修復牲皇廟記 甲午（太宗6/1264） 同治5年重立 洪洞県 56p

※中鎮霍山廟記并詩 壬寅（乃馬鎮皇后元/1242） 佚 霍山志による 洪洞県 82p
 重修通玄觀碑記 己亥9月15日（太宗11/1239） 安沢県 86p
 重修晋荀大夫廟碑銘并序 大徳3年（1299）5月15日 郷寧県 89p 拓影
 ※師曠廟記 至正甲辰（24/1364） 佚 洪洞県志による 93p
 大元晋寧路翼城県金仙寺住持弘辯興教大師裕公和尚道行碑 延祐7年（1320）小春 翼
 城県金仙寺 112p 拓影
 重修明心王廟碑 至元20年（1283）11月1日 洪洞県広勝寺霍泉水神廟 133p 拓影
 重修明心王殿之碑 延祐6年（1319）8月6日 洪洞県広勝寺霍泉水神廟 139p 拓影
 重建夫子廟碑 大徳10年（1306） 佚 襄陵県 161p
 訓義門記 至元31年（1294）10月15日 襄汾県 188p
 剥落のため文は「山右石刻叢編」による
 后土廟重修記 元貞2年（1296）正月15日 郷寧県 201p
 牛王廟元時碑記 至治年間 堯都区 205p
 碑陰の記事により元碑の光緒24年の重刻としている
 この項に牛王廟の柱の刻文（至元20年/1283と至治元年/1321）の紹介有
 木蘭花慢石刻 至正21年（1361）3月28日 蒲県 268p

長治金石萃編 常福江・郭生斌編 山西春秋電子音像出版社 2006.8 山西
 拓影と簡体字録文

「秋谷」摩崖石刻 元（李道復） 251p 長治
 乃磨后歌石刻 延祐甲寅（元年/1314） 8月上旬 252p 長治
 前土党県達魯花赤忽都帖木兒徳政記 至正21年（1361）3月立石 254p 長治
 孔子加封詔 257p 潞城
 詔文のみ、日付なし

古北岳遺存碑録 曲陽県文物保管所編印 2007.4

不鮮明な拓影か写真と簡体字録文

玉宸觀記（篆額） 写真不鮮明
 大朝歳次丁巳（憲宗5/1257）5月4日（典拠は8日とするが、己卯朔壬戌は4日）
 碑陰列名（近150人とある）

寿陽碑碣 史景怡編 山西古籍出版社 2007.12 山西

鉅冊、拓影と簡体字録文に解説を附し、対象は人民共和國におよぶ

昭濟聖母腹中石幢（本書） 延祐5年（1318）3月15日 94p

- 石氏先塋之誌（篆額） 至治3年（1323）8月10日 95p
刀村福田院勅建正殿碑記（首題） 至順4年（1333）庚申月甲午日 96p
皇唐李長者（碑） 元統3年（1335）4月13日 100p
故高義妻趙氏墓誌銘 至正2年（1342）4月 102p
※横題に高氏世系之図とあり
務副趙景思之墓（横題） 至正5年（1345）9月15日 103p
重修寿陽北山竜王廟記（首題） 至正甲午（14/1354）4月1日 104p

蔚県碑銘輯録 鄧慶平編 広西師範大学出版社 2009.6

民国までを対象とする、拓影と録文

026 至元17年聖旨碑

至元17年（1280）2月25日の聖旨、ただし右端の日付は読めない（本書は「至元□□年正月」とする）また、本書がタイトルとする馬兒年は憲宗8年戊午（1260）だが、この聖旨は引用されているだけ

同碑陰 至正8年（1358）10月28日立石

027 重修文廟碑

同碑陰（題名）

下半部のみの残碑、ただし、「劉完澤鐵穆爾立石」であり、文中に大都の語があり、元碑であろう。

190 蔚県楊氏先塋碑銘 至治元年（1321）11月27日立石

同碑陰（家系図）

※北京図書館49冊88

なお、この間には、『高平金石志』（中華書局、2004）、『新中国出土墓誌 上海・天津』（文物出版社、2009）も入手したが、紙数の関係で次号の掲載とさせていただく。

（もりた けんじ 奈良大学）